

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ菊名園	種別：認可保育所
代表者氏名：小西 美保	定員（利用人数）： 定員90名（利用人数86名）
所在地：〒222-0011 横浜市港北区菊名6-3-20	
TEL：045-421-3577	ホームページ： https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_011.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称） 名
	施設長：1名 看護師：1名
	保育士：13名 栄養士：4名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室：6室 園庭：1ヶ所（屋上）
	トイレ：5ヶ所
	調理室：1室 事務室：1室

③ 理念・基本方針

経営理念：
こども達の未来のために

保育理念：
豊かに生きる力を育てる

目指す子供の姿：
自分でかんがえる子ども/思いやりのある子ども/元気でたくましい子ども/明るくのびのびとした子ども

基本方針：
子どもを中心にとらえ家庭や地域との信頼関係を築き環境を通して人や物との関わりを大切にする/子どもの安全と安心を基本として自ら延びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育をする/子ども目線で豊かな愛情を持って一人ひとりの気持ちをしっかり受け止めその主体的な活動を育む。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園ではわらべうたを軸に、丁寧に関わることを大切にしています。
育児担当制を導入し、大切な乳児期に保育者が食事排泄着脱などという育児において

個々に応じて丁寧な関わりを第一に考え、個々の発達に合わせたお世話を通して情緒の安定、生活習慣、が育まれて幼児へ進級します。

幼児クラスでは毎日体操、課業(環境認識・数・文学・描画・体操・わらべうた)を通して経験したことを意識的に整理し五感を通して経験していきます。

環境認識では生活と関連付けて言語化し、知識を整理して社会に対する理解や人間関係を豊かにします。数を通して数的要素を楽しく遊びながら学びます。

描画では様々な技法や材料を提供し自由に描いたり製作志表現する環境を整えます。廃材利用で保護者の協力をいただくこともあります。

体操では運動能力、感覚器官の発達を促しながら健康なからだづくりを目的とし運動の中での達成感を得て積極性を身につけていくことを願っています。

わらべうたでは拍やリズムを意識して清潔な歌い方、聴く力を身につけていくことを大切に考えています。

また、幼児の取り組みとして年中クラスから習字の稽古を始めます。習字の所作には礼儀を道具を正しく理解する事が重要になります。体幹を保ちながら物事に取り組み手首や指先を巧みに使う大切な微細運動活動としています。字を習う事、綺麗に書く事は、目的ではなく、結果字に興味を持ち、綺麗に書くことが身につくという事になります。

最後に、年長クラスは保育園の集大成の一年。園外保育を沢山取り入れ、公共のマナーに触れ電車やバスなどを利用して様々な場所へ出かけていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月23日（契約日） ～ 令和5年4月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)担当制により乳児の愛着と成長につなげています
園では担当制保育を導入し実施しています。職員が専門書で担当制保育について学び、話し合いにより理解を深めています。担当保育士が乳児期の子どもに密接に関わって愛着の形成を図り、子ども達の心の安定に繋がっています。担当保育士が乳児それぞれの発達に合わせることで、丁寧に成長のサポートが出来ています。乳児期の変化を細かく見守る保育になっています。

2)テーマ（課業）により幼児の学びと成長を促しています
月ごとに変わるテーマ（課業）で子ども達に興味と知識を広げています。生活の中から興味を掘り下げ、子どもが考えて発表しています。生活に役立つテーマにより、知識を得るなど幼児期の成長に役立つ学びに繋がっています。また、園長自らが教える習字の学習が恒例となっています。書初めなどにも取り組み、筆の使い方や力の加減など、子ども達にとっても通常の保育とは違ったテーマを通して成長を促しています。

3)保護者に子どもの様子を知らせる工夫をしています
保育園での子どもの活動の様子や午睡時の様子など、動画や写真を保護者に配信し、保護者が子どもの日常を知る事が出来るよう工夫しています。子どもの様子を知ることができ、家庭と一体になった安心の保育となっています。園の見学希望があっても実際に来園ができない状況において、ライブ配信を行うなどリアルタイムで活動を見られるようにしています。

4) 中・長期計画の職員への周知が望まれます

法人で全体の中・長期計画を作成し、法人主催の会議などで知らせています。中・長期のビジョン「トリプルトラスト」を配信して方向性を示していますが、中・長期計画書として周知されていません。法人が大きくなるにつれて現場支援や理念等の共有が薄れていきやすく、明文化した中・長期計画書を示し、職員に周知することが望まれます。

5) ICT化を進め、職員と保護者へ広げることが期待されます

必要な職員体制のため人材確保に取り組んでいますが難しい状況です。園ではICT化に取り組み、2種類のアプリで業務効率の向上を図っています。さらに、退職理由の分析で定着率の向上が求められます。また、ICT化をさらに進めて保育活動を利用者に伝え、共に子どもの育ちを支えて行くことも期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

社会は目まぐるしく変化しており、保育業界も然り。

ここ数年はコロナもあり、凝り固まった既成概念の強い運営している他園は、大変な苦勞を重ねていた様子を見てきました。

こどもの育ちと発達という基本的な学びを疎かにせず、変化を恐れず柔軟に対応していく力がこれからもっともっと必要とされていくことを目の当たりにした数年でした。

当園は、職員一丸となって常に学びを続けており、「変わる」ことに恐れることなく向き合ってきたからこそ数々の困難を乗り越えてきたと自負しております。結果、保護者の皆さまからご理解をいただけるようになってきています。

これからも保護者の皆さまと共に、こどもの安全が何よりも第一に考えられ就学前の大切な時間をより充実できるよう努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり